

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【公表番号】特表 2018-519402 (P2018-519402A)

【公表日】平成 30 年 7 月 19 日 (2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報 2018-027

【出願番号】特願 2018-500354 (P2018-500354)

【国際特許分類】

C 08 L 33/06 (2006.01)

C 08 L 101/04 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2018.01)

【F I】

C 08 L 33/06

C 08 L 101/04

C 08 K 3/00

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 10 日 (2021.2.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) (メタ) アクリルコポリマー (A 1) 又は 2 種の (メタ) アクリルコポリマー (A 1 a) 及び (A 1 b) の混合物

b) フィラー (F) 又は 2 種のフィラー (F 1) 及び (F 2) の混合物

c) ハロゲン含有熱可塑性ポリマー

を含む組成物において、

(メタ) アクリルコポリマー (A 1) 又は 2 種の (メタ) アクリルコポリマー (A 1 a) 及び (A 1 b) の混合物のガラス転移温度 T_g が 105 未満であり、フィラー F 又は 2 種のフィラー (F 1) 及び (F 2) の混合物の量が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して 1 phr ~ 250 phr であることを特徴とし、

フィラー (F) の一部又は 2 種のフィラー (F 1) 及び (F 2) の混合物の一部が、(メタ) アクリルコポリマー (A 1) 又は 2 種の (メタ) アクリルコポリマー (A 1 a) 及び (A 1 b) の混合物を含む組成物に添加され、フィラー (F) の他の部分又は 2 種のフィラー (F 1) 及び (F 2) の混合物の他の部分が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーとは別個に組成物に添加されるか、又は既にハロゲン含有熱可塑性ポリマーと共に存在する状態で組成物に添加され、

フィラー (F) 又は 2 種のフィラー (F 1) 及び (F 2) の混合物の少なくとも一部が、炭酸カルシウム、焼成クレイ、シリカ (ヒュームド又は沈降)、クレイ、モンモリロナイト (ナノクレイ)、ゼオライト又はパーライトから選択される鉱物フィラーである、組成物。

【請求項 2】

フィラー (F) 又は 2 種のフィラー (F 1) 及び (F 2) の混合物の量が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して 2 phr より多い、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して 2 phr ~ 200 phr のフィラー (F) 又は

2 種のフィラー（F 1）及び（F 2）の混合物を含む、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して 0.01 phr ~ 20 phr の（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の混合物を含む、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して 0.15 phr ~ 4 phr の（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の混合物を含む、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

フィラー（F）又は 2 種のフィラー（F 1）及び（F 2）の混合物が炭酸カルシウムから選択される、請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の混合物が、メタクリル酸メチルを少なくとも 50 重量%含むコポリマーから選択される、請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

メタクリル酸メチル由来のポリマー単位を少なくとも 50 重量%含む（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の分子量 Mw が少なくとも 30000 g/mol である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

メタクリル酸メチル由来のポリマー単位を少なくとも 50 重量%含む（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の分子量 Mw が 200000 g/mol 未満である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

メタクリル酸メチル由来のポリマー単位を少なくとも 50 重量%含む（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の分子量 Mw が 100000 g/mol ~ 1200000 g/mol である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 11】

（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の混合物のガラス転移温度 Tg が、60 ~ 105 °C である、請求項 1 から 10 の何れか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の混合物のガラス転移温度 Tg が、70 ~ 100 °C である、請求項 1 から 10 の何れか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

ハロゲン含有熱可塑性ポリマーが、少なくとも 50 重量%の塩化ビニル単位を含む塩化ビニルのホモ又はコポリマーから選択される、請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

組成物 P 1 をハロゲン含有ポリマー及びフィラー（F）又は（F 2）と混合する工程を含む、請求項 1、4 から 10、及び 13 の何れか一項に記載の組成物を調製する方法において、

組成物 P 1 が、（メタ）アクリルコポリマー（A 1）又は 2 種の（メタ）アクリルコポリマー（A 1 a）及び（A 1 b）の混合物とフィラー（F）又は（F 1）とを含み、

（メタ）アクリルコポリマーのガラス転移温度 Tg が 105 °C 未満であり、フィラー（F）又は（F 1）及び（F 2）の併せた量がハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して 1 phr ~ 250 phr であることを特徴とする、方法。

【請求項 15】

2種の組成物P1及びP2を混合する工程を含む、請求項1、4から10、及び13の何れか一項に記載の組成物を調製する方法において、

組成物P1が、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラーF又はF1とを含み、

組成物P2がハロゲン含有ポリマーとフィラーF又はF2とを含むことを特徴とし、

(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物のガラス転移温度T_gが105未満であり、フィラーF又はF1及びF2の併せた量が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して1phr～250phrであることを特徴とする、方法。

【請求項 16】

組成物P1が、

a)少なくとも1種の(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物を少なくとも1種のフィラー(F)又は(F1)と混合する

工程を含む製造方法によって得られ、

工程a)における(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラー(F)又は(F1)が水性相中の分散体の形態であることを特徴とする、請求項14又は15に記載の方法。

【請求項 17】

組成物P1が、

a)少なくとも1種の(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物を少なくとも1種のフィラー(F)又は(F1)と混合し、

b) a)において得られた混合物を回収し、

c) 工程b)の回収された混合物を乾燥させる

工程を含む製造方法によって得られ、

工程a)における(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物と鉱物フィラーが水性相中の分散体の形態であることを特徴とする、請求項14又は15に記載の方法。

【請求項 18】

組成物P1が、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラーとからなる完全組成物P1に対して、1重量%～50重量%のフィラー(F)又は(F1)を含むことを特徴とする、請求項14から17の何れか一項に記載の方法。

【請求項 19】

組成物P1が粉末の形態であることを特徴とする、請求項14から18の何れか一項に記載の方法。

【請求項 20】

組成物P1が、 $1\mu\text{m} \sim 500\mu\text{m}$ の体積メジアン粒径D₅₀を有する粉末の形態であることを特徴とする、請求項14から19の何れか一項に記載の方法。

【請求項 21】

組成物P1が、1種の(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物を少なくとも1種のフィラー(F)又は(F1)と共に含む組成物P1全体にわたって大きな変動を持たない均一な粉末であり、組成物P1の変動がP1から採取されたP1の1重量%サンプルの全体組成物P1に対して30%未満であることを特徴とする、請求項14から20の何れか一項に記載の方法。

【請求項 22】

組成物P1の各粉末粒子又は粒が、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラーの二成分を含む

ことを特徴とする、請求項 1 9 から 2 1 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 2 3】

メタクリル酸メチル由来のポリマー単位を少なくとも 5 0 重量%含む(メタ)アクリルコポリマー(A 1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A 1 a)及び(A 1 b)の分子量 M_w が $1000000\text{ g/mol} \sim 12000000\text{ g/mol}$ であることを特徴とする、請求項 1 4 から 2 2 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 2 4】

(メタ)アクリルコポリマー(A 1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A 1 a)及び(A 1 b)の混合物のガラス転移温度 T_g が $60 \sim 105$ であることを特徴とする、請求項 1 4 から 2 2 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 2 5】

組成物 P 2 が $1\text{ phr} \sim 250\text{ phr}$ のフィラー(F 2)を含むことを特徴とする、請求項 1 5 に記載の方法。

【請求項 2 6】

(メタ)アクリルコポリマー(A 1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A 1 a)及び(A 1 b)の混合物とフィラーF又はF 1とを含む組成物P 1の、ハロゲン含有ポリマーとフィラー(F)又は(F 2)とを含む組成物の溶融時間を減少させるための使用において、(メタ)アクリルコポリマー(A 1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A 1 a)及び(A 1 b)の混合物のガラス転移温度 T_g が 105 未満であり、フィラーF又は2種のフィラー(F 1)及び(F 2)の混合物の量がハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して $1\text{ phr} \sim 250\text{ phr}$ であることを特徴とし、

フィラー(F)又は2種のフィラー(F 1)及び(F 2)の混合物の少なくとも一部が、炭酸カルシウム、焼成クレ-、シリカ(ヒュームド又は沈降)、クレ-、モンモリロナイト(ナノクレ-)、ゼオライト又はパーライトから選択される鉱物フィラーである、使用。

【請求項 2 7】

(メタ)アクリルコポリマー(A 1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A 1 a)及び(A 1 b)の混合物とフィラーF 1とを含む組成物P 1の、ハロゲン含有ポリマーとフィラーF 2とを含む組成物P 2の溶融時間を減少させるための使用において、(メタ)アクリルコポリマー(A 1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A 1 a)及び(A 1 b)の混合物のガラス転移温度 T_g が 105 未満であり、2種のフィラー(F 1)及び(F 2)の量がハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して $1\text{ phr} \sim 250\text{ phr}$ であることを特徴とし、

フィラー(F)又は2種のフィラー(F 1)及び(F 2)の混合物の少なくとも一部が、炭酸カルシウム、焼成クレ-、シリカ(ヒュームド又は沈降)、クレ-、モンモリロナイト(ナノクレ-)、ゼオライト又はパーライトから選択される鉱物フィラーである、使用。

【請求項 2 8】

請求項 1 から 1 3 の何れか一項に記載の組成物を含む物品。

【請求項 2 9】

物品が、形状品、パイプ、サイディング、フローリングフィルム又はシートであることを特徴とする、請求項 2 8 に記載の物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 0】

本発明によれば、フィラー(F)の一部又は2種のフィラー(F 1)及び(F 2)の混

合物の一部が、(メタ)アクリルコポリマー(A 1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A 1 a)及び(A 1 b)の混合物を含む組成物に加えられる。フィラー(F)の他の部分又は2種のフィラー(F 1)及び(F 2)の混合物の他の部分は、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーとは別個に組成物に添加されるか、又は既にハロゲン含有熱可塑性ポリマーと共に存在する状態で組成物に添加される。「既にハロゲン含有熱可塑性ポリマーと共に存在する」とは、フィラー(F)の一部又は2種のフィラー(F 1)及び(F 2)の混合物の一部を含む(メタ)アクリルコポリマー(A 1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A 1 a)及び(A 1 b)の混合物が添加される前に前記フィラー(F)の他の部分又は2種のフィラー(F 1)及び(F 2)の混合物の一部が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに添加されることを意味する。